

あいた一男後援会会報

第15号

■発行日 2017年 7月10日
■発行責任者 加賀 正孝

■郡山市西田町木村字池の上18-2 あいた一男後援会事務所
■電話/FAX 024-983-0949

後援会 総会報告

会長に加賀正孝氏

あいた一男後援会の平成29年度総会は、6月2日(金)後援会事務所において開催された。

池上正次会長が、過去2年間に渡る事業の報告を含めた挨拶を行い、會田一男市議会議員がお礼の挨拶を述べた。

議事に入り、池上正次会長の辞意表明を受けて役員改選を行い、満場一致次の通り新役員を決定した。

◇後援会長:加賀正孝(新任:木村)

◇副会長:渡辺邦良(再任:木村)、遠藤好則(再任:堂坂)

◇会計責任者:相楽光昭(再任:木村) ◇会計副責任者:渡辺幸夫(再任:芹沢)



事業報告する池上正次会長

新会長あいさつ



再選に向けて精進！

このたび総会に於いてご指名・ご推薦を頂き、重責につくことに成りました加賀正孝です。浅学非才、まだまだ未熟者ではございますが、前会長の薫陶と後押しを頂きながら、あいた一男の二期目当選に向けて努力精進する所存でありますので、皆様のご協力、応援をよろしくお願い申し上げます。

会長 加賀 正孝

議会活動報告

郡山市の6月定例議会で、6月21日(水)會田一男議員が一般質問に登壇し、西田学園について、子育て支援と少子化対策についてなど6項目に渡って質問した。

当日は、総勢20名の会員有志が応援にかけつけ傍聴した。

重要と思われる項目を抜粋して以下に掲載する。

西田学園 「4・3・2制」導入！

来年4月開校予定の西田学園について、工事の進捗状況、学校運営の方向性、教育のレベルアップ、学年段階の区切り等多岐に渡って質問を行なった。

特筆すべきは、中学校進学時に新しい環境になじめず不登校などの問題が生じる「中一ギャップ」の解消、児童生徒の発達段階、一人一人の習熟度や学習課題に応じた「先取り学習」等の特色ある教育活動を展開するとのことである。

学年の区切りについては、従来の小1から小4までの基礎期、小5から中1までの定着期、中2から卒業までの発展期として3つのまとまりでの教育活動、いわゆる「4・3・2制」の導入で9年間の連続した教育課程の編成を進めている旨の回答が柳沼文俊学校教育部長から示されたことである。

本件については、22日付朝刊で大きく取り上げられ詳細に報道されておりましたので大多数の方はご覧になっているものと推測します。

子育て

「祖父母手帳」配布決定！

子育て支援と少子化対策については、イタチごっこに見える保育所の待機児童解消対策について懸念を示し、安定した職場の確保など根本対策を講ずるよう訴えた。

＜質問＞安定した収入確保のための企業誘致のH25年度以降現在までの実績は？

【回答】市外から新たに誘致した件数は、製造業が9件、物流関係企業が3件、合計12件。

(産業観光部産業創出課)

＜質問＞祖父母の貴重な子育て経験・知識を若い世代に広く伝えて行く、またそういったものを学ぶ機会があるということが子育て支援につながると思うが当局の見解は？

【回答】祖父母の貴重な子育て経験・知識を若い世代に広く伝える事はもとより、祖父母世代が現在の子育てについて理解を深めることも重要と認識しており、従来実施してきた世代間交流事業等に加え、祖父母が安心して「孫育て」に協力できることを目的とした、今と昔の子育ての違い等を記した「祖父母手帳」を、本年7月から配布する。
(佐久間信博こども部長)

農業

1、農業振興地域整備計画の見直しについて スケジュール、内容変更！

＜質問＞農振整備計画の見直し作業が順調に行われていると思うが進捗状況と今後のスケジュール特に計画案の提示はいつごろになるのか伺いたい。

【回答】5/12に第2回有識者検討会を開催した。今後は検討会の中でいただいたご意見をもとに課題を整理、関係機関との協議を経て今年度中に整備計画素案を作成する予定。その後H30年度は、法手続に移り、関係機関からの意見聴取を経て秋頃には公告・縦覧、県の同意を得て決定する。

(佐藤和雄農林部長)

解説

12月定例議会での当局回答にあった「H29年秋ごろに地区説明会、計画案の縦覧を行う」から「地区説明会、計画案の縦覧」が消え、いきなり「H30年秋頃に公告・縦覧」と、時期、内容ともに変更になった答弁である。法律にのっとった手順とはいえ、地区説明会の消滅は地元の意見要望を具申する場が失われたことを意味し、H30年秋頃に予定の「公告・縦覧」を決って見逃さないよう注視していかなければならない。

2、遊休農地解消対策について

＜質問＞農地の有効利用を図るため、平成28年6月1日から田村町、中田町、西田町での農業開始の下限面積を50a(5反歩)から10a(1反歩)に変更されたがその実績は？

【回答】H29年5月末までの1年間の実績は、個人が2件、法人が1件で、経営面積の合計は約50a。

(佐藤和雄農林部長)

＜質問＞田村、中田、西田各町での補助事業活用による遊休農地解消面積は？

【回答】H26年度から28年度までの3年間の実績は、田村町で458a、中田町で38a、西田町で104a、合計600aとなっている。
(佐藤和雄農林部長)

3、パイプハウスの補助事業について

＜質問＞水稲単作から園芸作物を含めた複合経営への転換による生産者の所得向上を図るため小規模パイプハウスの設置に対して補助を行っているがその効果は？

また、効果が大きければ来年度以降も補助事業を継続すべきと思うが当局の見解は？

【回答】H27、28年度の2年間で計168棟、施設栽培面積で約18,000ヘーベが整備された。パイプハウスを活用した周年栽培による生産拡大等の効果が得られており、年間生産額にして約1,100万円の導入効果あり。

補助事業については、本年度は50棟の設置を予定、次年度以降の継続については3年間の評価と検証等を行い、更に生産者の要望を把握した上で判断する。
(農林部園芸畜産振興課)

耳より情報

「農業振興地域見直し」についての学習会

知っているようでも正確には知らない「農業振興地域見直し」ってどこを、どのように見直すの?との地域住民の疑問・不安に答え、西田町大田李田区主催の学習会が下記の通り開催されます。

当日は、市当局の担当者もお招きして疑問・不安を解消していただきます。

日時：7月15日(土) 午後7時～8時

場所：李田集会所

講師：會田一男議員 郡山市農林部職員

内容：「農業振興地域」に関する疑問・質問なら何でも結構